

横湯久美 展示場所 /

旧神谷伝兵衛稲毛別荘 2階

9:00am-17:15pm・月休

千葉県稲毛区稲毛 1-8-35 (千葉県市民ギャラリー・いなげ内)

私、横湯が今回作品を展示します旧神谷伝兵衛稲毛別荘は、昔の稲毛海岸沿い、今の国道14号線沿いにあります。浅草の神谷バーの創設者である“日本のワイン王・神谷伝兵衛”が、大正7年に建てた別荘です。稲毛が海辺の保養地だった頃の記憶を物語る建物としても価値があり、国の登録有形文化財に指定されています。ラストエンペラー「愛新覚羅溥儀」の弟「溥傑」夫婦が暮らした所でもあります。

現在の海岸は随分と先に進んでしまいましたが、隣接します稲毛浅間神社やその松林から、江戸の海風や明治に栄えた海水浴場の風景が強く感じられます。

今回、出品しますのは、祖母の暮らした札幌で制作した「時間 家の中で 家の外で」と、私の故郷である千葉県八千代市の家で作成した「その時のしるし/There Once Was」を出品いたします。これらの作品群は、これまでホワイキューブにて発表してきましたが、歴史ある建物での発表は今回が初めてです。東京スタジオ(私が暮らす駒込の超ご近所さん)によるシャープに建てられました仮設の壁とのアレンジも面白く、新鮮な仕上がりとなったと搬入を終え手応えを感じています。

稲毛のすぐ隣町の幕張には私の出身高校(千葉県初の芸術高校)がありました。40年前の幕張は、埋め立て地が荒野のように拡がり、海岸からの砂風が強く、まるでアリゾナの砂漠のようであり、位置やスケールを掴めない行政が作り上げた不可解な風景でした。更に発展し、今はもう存在しないその様は、私の風景への意識を育んだと感じています。

最近、よく週末に東京からチラッと稲毛海岸にドライブします。そして、その浜から、現在暮らす東京都、勤める神奈川県を眺めています。このエリアは、深呼吸をしながら自らの位置を時々確かめる私の特別な場なのです。

横湯 久美

アクセス /

京成稲毛駅から徒歩7分。JR 稲毛駅から徒歩17分。国道14号下り車線沿い稲毛浅間神社前交差点より約300m。

駐車場有り。稲毛海浜公園まで車で5分。幕張までは10分。